

すぐ連絡! すぐ実施!

# 自衛消防訓練を実施しましょう



自衛消防訓練は、火災が発生した場合に消防隊が現場に到着するまで、自衛消防活動により、迅速・的確に人命の保護と災害の拡大防止の措置をとれるようにすることを目的としています。

## 訓練の種別

自主的に訓練することが必要です!



防火管理者を選任している防火対象物は、消防計画に基づいて、消火、通報、避難の訓練を実施しなければなりません。特に、不特定多数の人が出入りする用途の建物では、消火訓練及び避難訓練を年2回以上実施することが義務付けられています。(消防法第8条)

### 総合訓練

火災の発生から消防隊到着までの一連の自衛消防活動について、消火・通報・避難の要素を取り入れて総合的に実施してください。

### 部分訓練

部分訓練は、個別に行う訓練で、主な訓練項目は次のとおりです。

- 消火訓練…消火器や屋内消火栓設備等の使い方を覚えましょう。
- 通報訓練…消防機関への通報や館内の連絡ができるようにしましょう。
- 避難訓練…避難の指示など、適切に避難誘導できるようにしましょう。

## 訓練の連絡

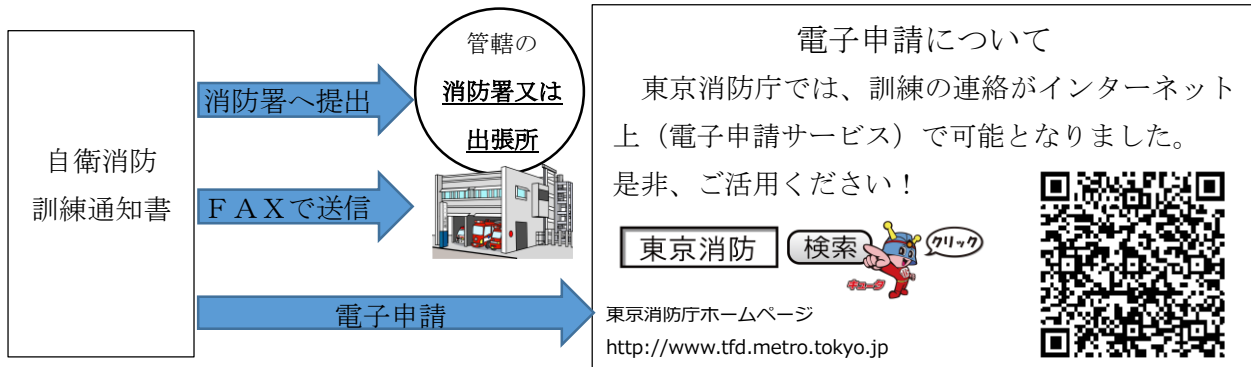
連絡をしないと、訓練を行っているのわかりません。



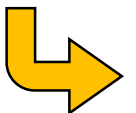
訓練を行う際は、あらかじめ消防署、または出張所に連絡しなければならないと規定されています。

次のいずれかの方法で、忘れずに訓練の連絡をしましょう。

(消防法施行規則第3条第11項)



裏面もご覧ください。

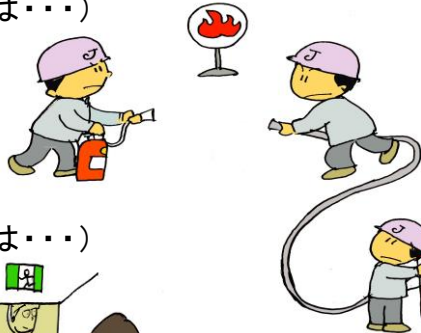


# 自衛消防訓練チェック表

(総合訓練とは・・・)

- 消火・避難・通報訓練の要素が入った一連の訓練を実施する。

(消火訓練とは・・・)



- 消火器の位置、使用方法を確認する。
- 屋内消火栓の位置、使用方法を確認する。

(避難訓練とは・・・)



- 避難経路を確認する。
- 実際に安全な場所まで避難する。

(通報訓練とは・・・)



- 住所等を確認する。
- 従業員同士が内線電話で119番通報する

(注)訓練で実際に119番通報をする場合は消防職員の立合いが必要です



各訓練のチェック項目に一つでも該当する訓練を実施する場合は、**自衛消防訓練通知書に必要な事項を記載し、消防署所まで連絡してください。**

短時間でも訓練はできます!

まず、身近にある**消火器**の位置、使用方法を確認しましょう!



自衛消防訓練実施事業所として登録します。

時間がない

方法がわからない

時間がなくても・・・  
 ☆ 出勤時に消火器の位置を確認する。  
 ☆ 朝礼時に消火器の使用方法を確認する。  
 ☆ 退社時に避難訓練をする。  
 これで訓練として認められます!!

問合せ先

- |                |               |               |          |                             |
|----------------|---------------|---------------|----------|-----------------------------|
| ・杉並消防署 予防課危険物係 | TEL(3393)0119 | FAX(3398)2209 |          |                             |
| ・永福出張所         | TEL(3328)0119 | FAX(3324)0990 | ・堀ノ内出張所  | TEL(3313)0119 FAX(3313)7627 |
| ・馬橋出張所         | TEL(3314)0119 | FAX(3318)3625 | ・阿佐ヶ谷出張所 | TEL(3337)0119 FAX(3337)7330 |
| ・高円寺出張所        | TEL(3316)0119 | FAX(3318)3584 | ・高井戸出張所  | TEL(3335)0119 FAX(3331)4921 |

自 衛 消 防 訓 練 通 知 書

東京消防庁 杉並消防署長 殿		年 月 日	
(統括) 防火管理者・(統括) 防災管理者 職・氏名			
防火対象物の所在	区 市郡	町 村	丁目 番 号 番地
防火対象物の名称等			用途 消 防 法 施 行 令 別 表 第 1 ( ) 項
事業所の名称等			用途 消 防 法 施 行 令 別 表 第 1 ( ) 項
実 施 日 時	年 月 日	時	分から 時 分まで
訓 練 根 拠	(防火管理・防災管理) に係る消防計画		全体の(防火管理・防災管理) に係る消防計画
訓 練 種 別	1 総合訓練(実・空) 2 検証(実・空) 3 通報訓練 4 消火訓練(実・空) 5 避難訓練(火災・火災以外) 6 その他( )		1 総合訓練(実・空) 2 検証(実・空) 3 通報訓練 4 消火訓練(実・空) 5 避難訓練(火災・火災以外) 6 その他( )
参加予定人員	名	問い合わせ先	電話 ( )
訓練概要【具体的な内容(実施場所・想定等)】			
※受付欄		※経過欄	
※対象物番号	敷地番号	建物番号	T- 事業所番号 G-
※データ入力年月日	年 月 日	※データ入力者	

備考 1 ※欄は記入しないこと

2 全体の(防火管理・防災管理)に係る消防計画に基づき訓練を実施した場合には参加事業所の一覧を添付してください。

杉並消防署 予防課危険物係 TEL (3393) 0119 FAX (3398) 2209

永福出張所 TEL (3328) 0119 FAX (3324) 0990 堀ノ内出張所 TEL (3313) 0119 FAX (3313) 7627

馬橋出張所 TEL (3314) 0119 FAX (3318) 3625 阿佐ヶ谷出張所 TEL (3337) 0119 FAX (3337) 7330

高円寺出張所 TEL (3316) 0119 FAX (3318) 3584 高井戸出張所 TEL (3335) 0119 FAX (3331) 4921

## 自衛消防訓練通知書の記入要領

### 自 衛 消 防 訓 練 通 知 書

(1) 年 月 日					
東京消防庁					
(2) 消防署長 殿					
(3) (統括) 防火管理者・(統括) 防災管理者 職・氏名					
防火対象物の 所 在	(4) 区 市郡	町 村	丁目	番 番地	号
防火対象物の 名 称 等	(5)			用途	(7) 消防法施行令 別表第1 ( ) 項
事業所の名称等	(6)			用途	(8) 消防法施行令 別表第1 ( ) 項
実 施 日 時	(9) 年 月 日	時 分から 時 分まで			
訓 練 根 拠	(10) (防火管理・防災管理) に係る消防計画		(10) 全体の(防火管理・防災管理) に係る消防計画		
訓 練 種 別	1 総合訓練(実・空) 2 検証(実・空) (11) 3 通報訓練 4 消火訓練(実・空) 5 避難訓練(火災・火災以外) 6 その他( )		1 総合訓練(実・空) 2 検証(実・空) (11) 3 通報訓練 4 消火訓練(実・空) 5 避難訓練(火災・火災以外) 6 その他( )		
参加予定人員	(12) 名	問合せ先	電話	(13) ( )	
訓練概要(具体的な内容) (14)					
※受付欄			※経過欄		
※対象物番号	敷地番号		建物番号	T-	事業所番号 G-
※データ入力年月日		年 月 日	※データ入力者		

消防署 ( 分署、出張所) F A X ;

- 備考
- 1 ※欄は記入しないでください。
  - 2 全体の(防火管理・防災管理)に係る消防計画に基づく訓練の場合には、参加事業所一覧等の資料を添付してください。
  - 3 「訓練概要」の欄には、実施場所、発災想定等の具体的な内容を記載してください。
  - 4 ( ) のある欄については、該当しない文字を二重線で消してください

**[自衛消防訓練通知書記入要領]**

項 目	記 入 要 領		
(1) 年月日	通知書の提出年月日を記入します。		
(2) 宛先	<a href="#">防火対象物を所轄する消防署</a> 長宛とします。		
(3) (統括)防火管理者・ (統括)防災管理者	防火管理者又は防災管理者の職・氏名を記入します。 ※ 該当しない文字は——で抹消します。 (例) 事業所の防火・防災管理者として通知する場合 <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <tr> <td align="center"> <del>(統括)防火管理者・(統括)防災管理者</del>                      総務課長 ○○ ○○                 </td> </tr> </table>	<del>(統括)防火管理者・(統括)防災管理者</del> 総務課長 ○○ ○○	
<del>(統括)防火管理者・(統括)防災管理者</del> 総務課長 ○○ ○○			
(4) 防火対象物の所在	防火対象物の所在地を記入します(該当しない文字は——で抹消します。)		
(5) 防火対象物の名称等	防火対象物の名称を記入します。		
(6) 用途	防火対象物の用途を <a href="#">政令別表第1に掲げる用途区分及び項区分</a> により記入します。 (例)「(12)項イ」「(15)項」「(16)項イ」等		
(7) 事業所の名称等	ア 訓練を実施する事業所の名称を記入します。 イ 複数の事業所が共同で訓練を実施する場合は、代表となる事業所の名称を記入し、その他の事業所は別紙(任意の様式)に記入し、添付します。		
(8) 用途	訓練を実施する事業所の用途を、(6)の例により記入します。		
(9) 実施日時	訓練を実施する日時を記入します。		
(10) 訓練根拠	訓練の実施根拠として、該当しない文字を——で抹消します。 (例) 防火管理に係る全体の訓練と事業所ごとの訓練を実施する場合 <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <tr> <td align="center"> <del>(防火管理・防災管理)</del>                      に係る消防計画                 </td> <td align="center">                     全体の <del>(防火管理・防災管理)</del>                      に係る消防計画                 </td> </tr> </table>	<del>(防火管理・防災管理)</del> に係る消防計画	全体の <del>(防火管理・防災管理)</del> に係る消防計画
<del>(防火管理・防災管理)</del> に係る消防計画	全体の <del>(防火管理・防災管理)</del> に係る消防計画		
(11) 訓練種別	実施する予定の訓練種別に○をします。 ※ 実：実際に放水して消火訓練を行う場合をいいます。 空 <sup>カラ</sup> ：放水はせず、空のホースにて消火訓練を実施する場合をいいます。 ※ 検証：防災センター要員を対象に行う検証訓練をいいます。 ※ 1～5に該当しない訓練を実施した場合は「6 その他」の( )内に実施した訓練種別を記入します。 (例)「6 その他(震災図上演習)」		
(12) 参加予定人員	訓練に参加する予定の人員を記入します。		
(13) 問合せ先	訓練担当者の氏名及び連絡先を記入します。		
(14) 訓練概要	実施する予定の訓練の想定や実施内容等を記入します。 ※ 枠内に書ききれない場合には、別紙(任意の様式)に記入し添付します。 (例)「『○月○日12時30分ごろ、3階レストランから火災が発生し、3階に逃げ遅れた者がいる。』という想定に基づき、119番通報、館内非常放送、初期消火、避難誘導の訓練をビル全体で実施する。その後、参加者全員に対し、消火訓練、通報訓練等の個別訓練を実施する。」		